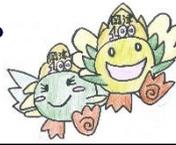




岡 津



令和元年度のキーワード
「つなぐ×3 そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/> 検索

学校だより 7月号
令和元年6月28日
横浜市立岡津小学校
校長 宮路 ますみ
TEL 811-4104
FAX 812-4586
(岡津小HPのQRコード掲載)

「常識」が「常識」でない？

副校長 加藤 純

5月にユネスコの諮問機関「イコモス」が、世界文化遺産に「百舌鳥・古市古墳群」を登録するよう勧告を出しました。この勧告を受けて、6月30日(日)～7月10日(水)にアゼルバイジャンで行われる世界遺産委員会の審査で登録される見通しです。



(大山古墳)

今回、世界文化遺産への登録が正式に決定すると国内で19件目となり、世界自然遺産を含めると23件目となります。改めて、日本の自然・文化が世界に認められるほど貴重なものであると考えさせられました。

「百舌鳥・古市古墳群」は大阪府にある4世紀後半から5世紀後半の古墳時代、大規模な前方後円墳が集中している周辺に中小古墳が取り囲み、合計49基の古墳で構成されています。代表的なものが写真の「大山古墳」で墳丘の長さが486mあり、エジプトのクフ王のピラミッド・秦始皇帝陵とならび、世界三大墳墓と称されています。

しかし、私たちの世代はこの古墳を「仁徳天皇陵」と教えられました。今の教科書では「大山古墳」と表示してあります。他にも鎌倉幕府の成立が1192年から1185年になり、源頼朝や足利尊氏の肖像画が使われなくなるなど、以前の教科書とはずいぶん変更になっているのです。

小学校では来年度より新学習指導要領が完全実施となります。これだけ時代の移り変わりが早い世の中を生きていく子どもたちに、「生きる力」を育むための大きな改訂です。私たち大人こそ「昔はこうだった。」とか「こうに決まっているでしょ。」ではなく、時代のニーズに敏感になる必要があります。これまでの「常識」が「常識」ではなくなってくるかもしれないと、学校・家庭・地域の大人が気づいて子どもたちを育てていける岡津のまちでありたいと思っています。